

うめのき幼稚園だより

げんきもりもり

えがおにこにこ

ひとみきらきら

2月

令和7年1月31日
北区立うめのき幼稚園

幼稚園の歩みに思いを寄せて

園長 篠澤 恵理

本園は、昭和47年に北区における最初の公立幼稚園として開園して以来、「子どもたちのために」と関わってきた方々の温かな思いが積み重なって、自然豊かな環境が整えられてきました。子どもたちの遊び基地となる「カエルハウス」や「ロープアスレチック」も、「土手の散歩道や階段」も、歴代の先生方と保護者が力を合わせて、地域の方々のご協力を得ながら改修を重ねて今の環境があります。子どもたちが心躍る体験をしているのは、これまで幼稚園のために力を尽くしてくださった方々のおかげであるということ、子どもたちと一緒に改めて振り返っています。幼稚園の楽しかった思い出や、お世話になった方々への感謝の気持ちを聴くと、焼き芋パーティーや野菜の収穫などの「行事や日々の園生活での喜び」、保育園や小学生などの「地域の様々な人との温かな触れ合い」、弁当や毎日の送迎などの「家族への感謝」について、次々と思い出されていました。子どもたちの心には、これまでの体験が確かに残っており、その時の感情をもう一度なぞる機会になりました。振り返って改めて自分自身の気持ちに向き合うことになったようで、新たな気付きも生まれるとともに、感じたことを言葉に表す貴重な機会にもなっています。

本園は、3月末で幼稚園としての役目を終えて閉園し、新たな認定こども園としての歩みを始めます。これまでうめのき幼稚園のためにお力添えをいただいた方々に感謝の思いを伝えたいと考え、2月15日に「ありがとうの会」を行います。新園舎増設工事の中での少人数による開催ですが、うめのき幼稚園の52年の歩みに関わってくださった全ての皆様に感謝をお伝えする思いで臨みます。

つきましては、各ご家庭でも「わくわくする幼稚園」「豊かな自然」「優しい友達」「応援して下さる地域の皆様」「温かな家族」などの素敵な出会いや楽しかった出来事について親子で振り返り、子どもたちや保護者の皆様の思いを「ありがとうの花」にご記入いただくように計画しました。うめのき幼稚園で過ごした日々思いを寄せていくと、子どもたちの成長も実感できることと思います。親子で通った幼稚園生活をしみじみと振り返り、子どもと共にいる幸せを感じながら、一日一日を大切に過ごしてまいりましょう。



えがおにこにこコーナー

子どもたちは、北風が吹く中でも元気いっぱい遊んでいます。土手での段ボール滑りは、進化を遂げて「ござ」をつなげた7mの滑り台となり、人気の場所となりました。何度も土手を駆け上がる姿を見て、子どもたちの体力が向上したことを感じました。小学校の校庭の端から端まで、思い切り走ることも楽しんでます。寒い朝、観察池には氷が張り、触ってみたり太陽にかざしてみたりして、自然の不思議さを体感しました。今後も、本園の豊かな環境を生かしながら、ますます楽しい毎日を計画してまいります。



【土手の滑り台遊び】



【校庭を借用して凧揚げ】



【観察池に張った氷に触れて】